中学公民	個人の尊重と日本国憲法③	年　組　番	1問　5点
人権と共生社会❷ これからの人権保障		名前	／100

①	国民が政治に参加する権利	参政権
②	満１８歳以上の全ての国民に認められた、 国や都道府県、市町村などの代表者を選ぶ権利	選挙権
③	選挙に立候補する権利	被選挙権
④	国などに要望をする権利	請願権
⑤	誰もが裁判所による裁判を受けられる権利	裁判を受ける権利
⑥	国や地方の公務員の不法行為で受けた損害に対して、 賠償を求める権利	国家賠償請求権
⑦	裁判の無罪判決に対し、国に保障を求める権利	刑事補償請求権
⑧	社会全体の利益を意味する、人権の限界や制限	公共の福祉
⑨	日本国憲法が定める、「子どもに普通教育を受けさせる義務」・ 「勤労の義務」・「納税の義務」の三つ	国民の義務
⑩	住みやすい環境を求める権利	環境権
⑪	大規模な開発を行う場合に、事前に環境への影響を調査すること	環境アセスメント
⑫	人間が、自分の生き方や生活の仕方について自由に決定する権利	自己決定権
⑬	⑫のひとつで、医師が患者に診療の目的や内容を 十分に説明し，患者の同意を得ること	インフォームド・コンセント
⑭	国民が、国や地方の情報を手に入れる権利	知る権利
⑮	国や地方が、人々の請求に応じて情報を開示する制度	情報公開制度
⑯	私生活に関する情報を公開されない権利	プライバシーの権利
⑰	国や地方、民間の情報管理者に、 個人情報を厳重に管理することを義務付けた制度	個人情報保護制度
⑱	1948年に国際連合で採択された、人権の尊重に関する宣言	世界人権宣言
⑲	1966年に国際連合で採択された、 ⑱に法的拘束力を持たせた条約	国際人権規約
⑳	国際的な人権保障を実現するため、 国境をこえて活動する非営利の民間組織	NGO(非政府組織)

モノマナビ研究所　このプリントは無料ダウンロードできます。https://monomanabi.co.jp　モノマナビ研究所　検索